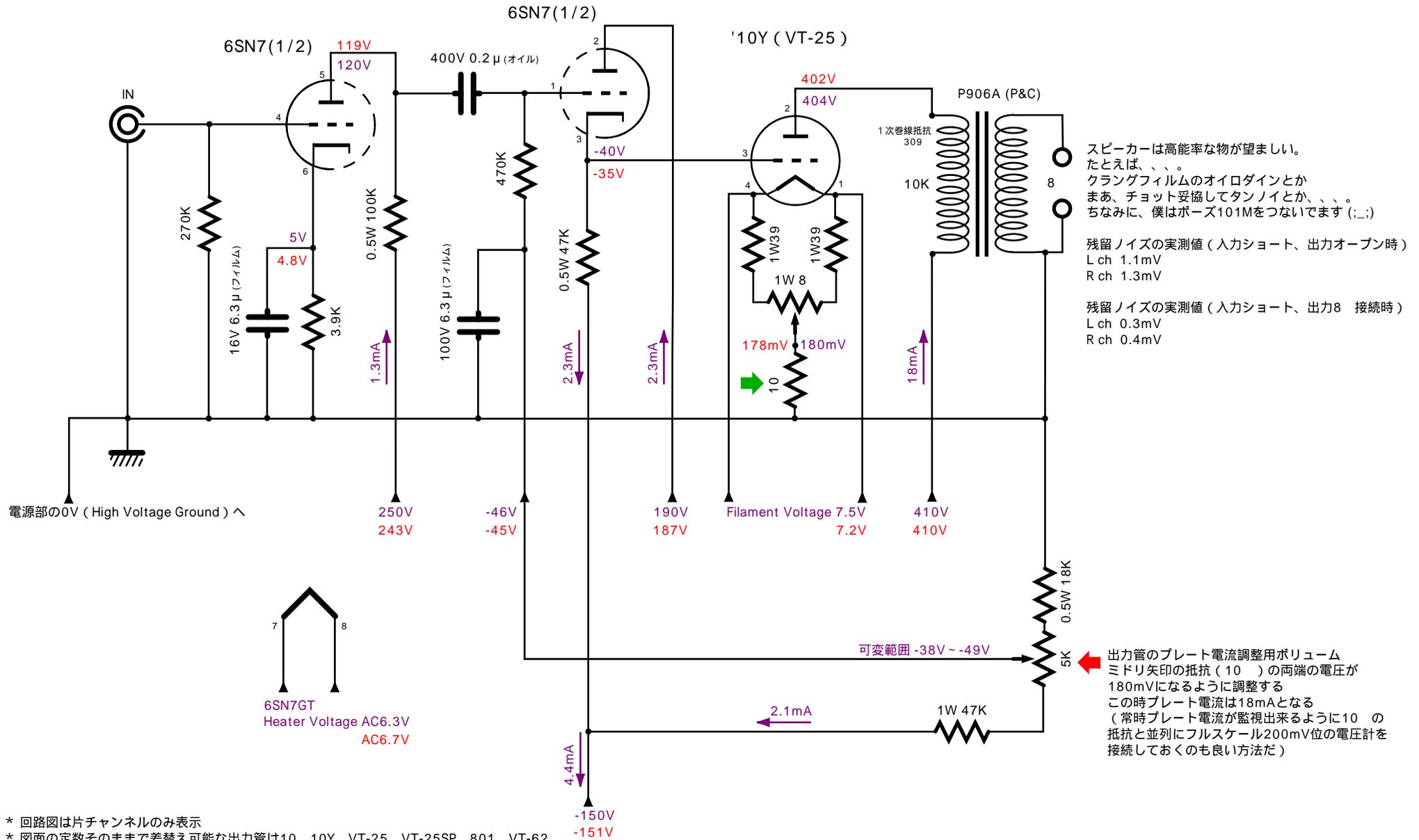


'10Y (VT-25) SingleEnded Amplifier / Amplifier Unit 2004,02,04



スピーカーは高効率な物が望ましい。
 たとえば、、、。
 クラゲフィルムのオドロゲンとか
 まあ、チョット妥協してタンノイとか、、、。
 ちなみに、僕はボーズ101Mをつないでます (；_；)

残留ノイズの実測値 (入力ショート、出力オープン時)
 L ch 1.1mV
 R ch 1.3mV

残留ノイズの実測値 (入力ショート、出力8 接続時)
 L ch 0.3mV
 R ch 0.4mV

出力管のプレート電流調整用ボリューム
 ミドリ矢印の抵抗 (10Ω) の両端の電圧が
 180mVになるように調整する
 この時プレート電流は18mAとなる
 (常時プレート電流が監視出来るように10Ωの
 抵抗と並列にフルスケール200mV位の電圧計を
 接続しておくのも良い方法だ)

- * 回路図は片チャンネルのみ表示
- * 図面の定数そのままでも差替え可能な出力管は10、10Y、VT-25、VT-25SP、801、VT-62
- * 回路図上の紫文字の電圧と電流は設計値 (完成時に実測値が概ねプラス5%、マイナス10%くらいの範囲であれば可)
- * 回路図上の赤文字の電圧は今回製作した完成機での実測値 (完成時の回路の電圧チェックはこの赤文字の電圧をチェックする。図面の値に近ければまず配線間違いは無いはずだ)
- * 各 부품の耐圧および電力許容量は図面に表示以上の物を使用するのが望ましい (電力許容量が記していない抵抗は全て4分の1ワットの物を使用する)
- * 出力管のバイアスの調整は赤矢印の5K 半固定抵抗を回し、ミドリ矢印で指し示した10Ωの抵抗の両端の電圧が180mVになるようにする
- * 尚、出力管を取り替えた場合は勿論、そうでなくとも概ね1年に一回位は上記の調整を行う必要有り (本回路は固定バイアス方式である為)
- * 出力管のフィラメント回路に付いている1W8Ωの半固定抵抗 (ミドリ矢印近傍の物) を回し、無信号時にスピーカーから出るノイズが最小になるよう調整する